

豪雨・猛暑と続く中、自主研修会開催（丹後地区）

- 今年の7月の日本列島は、豪雨に始まり40度前後の異常高温日の連続に続き、過去に例のない東から西寄りのコースを辿った台風の為に全国各地に多大な被害を発生させており、この真夏、復旧に努力されている皆様や関係行政機関の方々に深く敬意と、一日も早い日常生活が取り戻せますようお願い申し上げます。
- こうした状況下でしたが、計画しておりました今年度の丹後地区行政相談委員の自主研修会を下記により実施いたしました。

- ★日時 : 平成30年7月27日（金） PM13:30～16:15
- ★場所 : 京丹後市峰山町地域公民館
- ★参加者 : 丹後地区行政相談員10名（1名欠員）中9名出席
京都行政監視行政相談センター 所長、相談課長、業務係長

- 研修は、中村丹後地区協会長の挨拶に始まり、地元、京丹後市の上田市民環境部長による歓迎と激励の挨拶を頂き研修に入りました。



挨拶をされる中村丹後地区協会長



京丹後市上田市民環境部長

研修は、遠路参加して頂いた京都行政監視行政相談センター所長の西川八郎様より「高齢運転者を取り巻く現状」と題して、近年全国的に高齢者の運転を巡る諸問題や、交通事情の不足する地方での生活権、これ以上悪化しない取り組みについて国や地方で施策が検討されている現状等について、資料を元にくわしく解説頂きました。



西川京都行政監視行政相談センター所長



研修の様子

我が国における 75 才以上の長寿人口や運転免許保有数は、年々伸び続けている現状から、私達も広く市民と共に関心を持っていきたいと思えます。

- 引き続いて、この一年間に各委員が市民から相談のあった多くの事例の中から、特に皆で検討してほしいと思われる件について、全委員から出しあって討議を行い、柳木相談課長からも助言を頂きました。



(主な事例・意見)

- ・ 相談者の専門的な相談に対する助言に苦慮するケースが度々ある。
- ・ 特定の相談者よりの相談が重なり一定の限界も感じる。
- ・ 行政への対応苦情。
- ・ 定期的な相談所開設により、他町の方の相談にも広がっている。
- ・ 時代の進展により、紙対応から電子機器対応が進み、高齢者世帯とか生活弱者の困惑が感じられる。
- ・ お薬手帳への対応に周知不足や利点の理解が不足している。
- ・ 国や地方行政には各種、市民にプラスの助成制度が多くある。活用を。
- ・ 生活環境の改善相談がかなりある。
- ・ 多くの行政機関は対市民に対する 3S（スピード感、親切心、そして信頼）に一層心がけてほしい。
- ・ プライバシーの保護は行政の基本。更に行政マンは徹底を。



閉会の挨拶をされる戸石丹後地区協副会長

等々、各委員から貴重な意見、要望があり自主研修会を終了しました。

平成 30 年 7 月 31 日

丹後地区 HP 委員 吉岡 秀巳